

私の志

樽床伸二

【はじめに】

政権交代の原点にもどろう

昨年の衆院選は、民主党が勝ったというよりもむしろ、自民党的な古い政治に対して国民の怒りが突き付けられたのであり、「日本の将来に、何とか新しい展望を開いて欲しい。報われる社会を実現してほしい」という国民の皆さんの切実な想いによって、政権交代が実現されたのだと思います。

この原点を忘れては、民主党が政権を担う資格はありません。

まず、我々すべての民主党議員は、政権交代が実現して以来の民主党政権に対する支持の低下や国民からのご批判を一身に引き受けて、鳩山総理と小沢幹事長が身をひかれたということを真摯にうけとめなければなりません。その上で、我々は、まっすぐに前に進まねばなりません。

新しい政治には、世代交代による新しいリーダーを

志半ばで鳩山総理、小沢幹事長が退いたここからが、民主党にとっての本当の勝負であり、正念場です。我々は皆仲間であり、党内対立にうつつを抜かしている暇はありません。敵を間違えてはなりません。民主党が、国民のために命をかけて戦うべきは、昨年八月に国民がノーをつきつけた「自民党的な古い政治」です。

だからこそ民主党は、古い自民党政治を刷新し、国民の生活を第一に据えた開かれた政治、日本の将来に責任を持った政治、国民が納得し、共感できる政治の実現に向けて、今一度、再出発を図らねばなりません。

そして、民主党の新たな再出発は、世代交代による新しいリーダーを生み出すことが、その第一歩になると確信しています。

私は、五十才になります。五十にして天命を知る。政権交代を目指して、二十年間走り続けて参りましたが、昨年実現された歴史的な政権交代に、さらに実りを与える使命が私に与えられるならば、本懐です。

民主党代表、そして、内閣総理大臣の重みは十分に感じておりますが、幸いにも民主党には素晴らしい人材がそろっています。私はそのチームの若いキャップテンとして、その重責を果たしていきたいと思います。

【政権運営・党運営の基本理念】

私は、新しい政治の実現に向け、政権運営・党運営の基本理念として、以下の点を掲げます。

① “自民党的政治”からの完全な決別と地域主権の実現

私は、初当選以来、地域主権国家・日本の実現を、一貫して訴えて参りました。これは、とりもなおさず、中央集権的な行政主導・官僚依存の政治、中央から地方への利権誘導によって成立してきた自民党政治を打破することに他なりません。政権交代の重みをあらためて受け止めて、「地域主権の実現」にまい進します。

② 「衆知を集める民主主義」による国民的合意の形成

日米関係、財政再建・消費税問題など、避けて通れない日本の課題に対しては、粘り強く、誠実に国民の声に耳を傾けて衆知を集め、熟議を経て、国民的合意を形成していかねばなりません。特に、消費税については、前提条件（国会改革・行政改革の断行）をクリアした上で、年金・医療・社会保障の制度改革の設計図を整え、税率やお願いしたい負担水準、導入時期を明らかにしたうえで、総選挙で国民に信を問いたいと思います。

③ 党運営について

すべての議員が力を発揮し、政策立案に関与していくよう、自由闊達で、風通しが良く、民主党らしい党運営を実践します。政策会議、議員政策研究会の役割分担・連携強化で、個々の議員の力を党の力として一つにまとめていくようにします。

④ 参議院選挙に向けて

党の先頭に立って、最前線で国民に接し、来る参議院選挙に向けた活動に取り組んでおられる候補者、改選議員の方々に深甚なる敬意を表するとともに、参院選勝利にむけて、党の全力を挙げて支援を展開し、選挙戦に臨みます。

【政策について】

国民との約束である昨年のマニフェストを基本に、成長戦略をはじめとして、これまでの政権運営で積み重ねてきた政策実現の努力を尊重します。ただし、来年度も予想される税収不足など、マニフェスト実施に向けての各種の制約に

については、今後、さらなる議論を通じて優先順位を明確化し、現実的な観点から実現工程を見直して、着実に実施を進めていきます。

このような基本的考え方をふまえて、私は、以下の政策課題については、特に力を込めて、その実現を追求していきたいと思います。

(1) 地域主権の国づくり

明治以来続いた中央集権体制の抜本的な改革と「地域主権国家」への転換。「一括交付金」化の早期実現。

(2) 「隗より始めよ」：国会改革と行政刷新の断行

国民に負担増をお願いする前に、国會議員の定数削減を実行。公務員制度の抜本改革をはじめとした行政刷新を推進。

(3) 持続可能な財政の実現

成長戦略と徹底的なデフレ対策、景気回復を通じた税の增收を図るとともに、社会保障（年金・医療・介護）の安定財源としての消費税を含む税制のあり方の見直し。行革を徹底的に推進し、社会保障制度の抜本改革の設計図を整え、負担について信を問う。

(4) 政治とカネ問題

個人献金を促進する税制改革を行うとともに、企業団体による献金の禁止へ。

(5) 地球温暖化対策の強力な推進

地球温暖化対策基本法に基づき、環境と経済成長の両立を目指した経済社会の構築を図る。

* * *

世代交代を経て、党全体が一つになって、仲間とともに新しい政治に向って、まっすぐに突き進む民主党。是非とも、私とともに、国民の信頼を回復し、未来にむけて新しい政治を実現していきましょう。

どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。